

議会だより

3月定例会

No.47

平成29年4月27日

発行 石川県志賀町議会

ししか



	ページ
新しい正副議長を選出	2
平成29年度の主な事業箇所	6
原発とエネルギー問題を考える	11
町長の再出馬の意思は (一般質問)	19
クルーズ紹介 志賀町フロアボール教室	20

友達といっしょに

(志賀小学校入学式)



3月定例会は、2月28日から3月17日までの会期で開かれました。町長から提出された平成29年度各会計の予算、28年度補正予算、条例改正、町道認定、副町長の人事のほか、請願や議会の人事案件など、合わせて44件を審議しました。

3月 定例会

なお、3月17日に、越後敏明議長と寺井強副議長がそれぞれ議長と副議長の辞職願を提出したことから、これを許可して選挙を行った結果、新議長に南政夫氏、新副議長に稲岡健太郎氏が選ばれました。



◆新しい正副議長を選出◆

副議長 (第10代)

いなおか けんたろう
稲岡 健太郎 39歳 徳田

決算特別委員会委員長、議会広報特別委員会委員長などを歴任

【ごあいさつ】

南政夫議長をしっかり支え、微力ではありますが、志賀町並びに志賀町議会の発展に粉骨砕身、努力していく所存であります。

議長 (第9代)

みなみ まさ お
南 政夫 53歳 矢駄

副議長、教育民生常任委員会委員長、総務常任委員会委員長、産業建設常任委員会委員長、予算決算常任委員会委員長などを歴任

【ごあいさつ】

円滑な議会の運営を通じて、住民福祉の向上、町政の発展のため、一身を挺して尽力していく所存であります。

◆ 常任委員会・議会運営委員会の委員を選任 ◆

常任委員会と議会運営委員会の委員の任期（2年）が5月7日で満了することから、定例会最終日に新たな委員を選任しました。なお、正副委員長は、5月8日の任期開始後の委員会で選ばれます。

総務産業建設常任委員会

役場内部事務や地場産業にかかる分野を所管する



堂下健一委員 南政夫委員 下池外巳造委員 須磨隆正委員 越後敏明委員 田中正文委員 富澤軒康委員 櫻井俊一委員

教育民生常任委員会

教育や住民の暮らしにかかる分野を所管する



中谷松助委員 福田晃悦委員 稲岡健太郎委員 南正紀委員 寺井強委員 林一夫委員 戸坂忠寸計委員 久木拓栄委員

予算決算常任委員会

当初予算、補正予算、決算にかかる分野を所管する

議長を除く全議員

議会運営委員会

議長の諮問事項や議会運営にかかる分野を所管する



田中正文委員 富澤軒康委員 櫻井俊一委員 林一夫委員 戸坂忠寸計委員

◆ 特別委員会 の委員構成が変更 ◆

新しい議長と副議長が誕生したことで、3月17日から特別委員会の委員構成が変わりました。

議会広報特別委員会

議会だよりの作成にかかる事項を所管する

寺井強委員長 福田晃悦副委員長 稲岡健太郎委員 南正紀委員 富澤軒康委員 櫻井俊一委員

議会改革調査特別委員会

議会改革にかかる調査を所管する

富澤軒康委員長 南正紀副委員長 稲岡健太郎委員 堂下健一委員 林一夫委員 戸坂忠寸計委員

原子力発電所対策特別委員会

志賀原子力発電所にかかる対策を所管する

議長を除く全議員（正副委員長は変更なし）

千万円 前年度より18億2千万円の減

新規・拡充事業

2440
万円

がん検診の充実



胃がんの発生の原因となるピロリ菌感染の発見、除去により、胃がんになるリスクが軽減されます。

ピロリ菌 

がん検診の検査項目に、ピロリ菌感染や胃粘膜萎縮性を調べる検査（血液検査）が追加されます。

1384
万円

移住定住の促進



18歳以上60歳未満のU・Iターン者や新規学卒者で、転入や卒業した日から1年以内に地元企業等に就業した場合、奨励金が交付されます。また、民間の賃貸住宅に入った場合、家賃の一部が助成されます。

111
万円

地域活動への支援



二級河川の清掃活動をした区には、報奨金が交付されます。

670
万円

コンビニ収納に対するシステム改修



平成30年4月から
サービス開始

コンビニで町の税金等を支払うことができるようにするため、システムの改修が行われます。

3004
万円

学校給食への支援



18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある児童生徒を2人以上扶養している方が対象です。

多子世帯の児童生徒の保護者に対して、第2子以降の学校給食費が助成されます。

460
万円

婚活のサポート



企業と協働して、独身従業員への結婚支援事業を行い、婚活支援を推進する企業等には、補助金が交付されます。

29年度 一般会計予算

121億8

平成29年度一般会計予算は、大型事業である志賀小学校の整備などが終了したことから、前年度より18億2千万円減の121億8千万円となっています。

また、特別会計と企業会計を合わせた予算総額は、前年度より20億3064万円余り減の229億1413万円となっています。

予算の内訳

※ () は対前年度比です

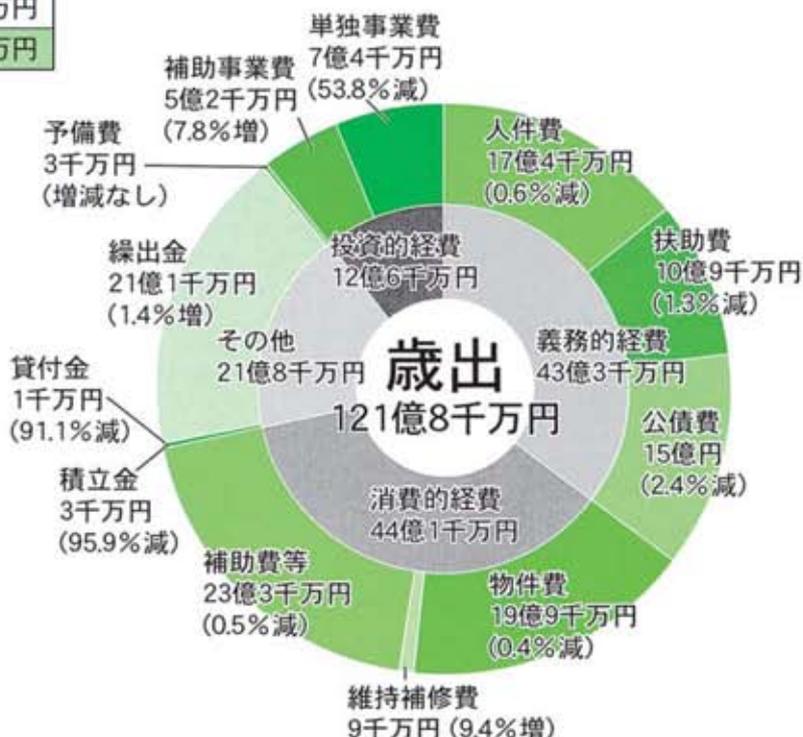
平成29年度各会計の予算額

区 分		予 算 額
一 般 会 計		121億8000万円
特 別 会 計	国民健康保険	29億4624万円
	後期高齢者医療	3億1267万円
	農業集落排水事業	4億9831万円
	公共下水道事業	7億5228万円
	地域し尿処理施設	6228万円
	介護保険	29億7695万円
	診療所事業	1億7480万円
	ケーブルテレビ事業	4億7135万円
企 業 会 計	水道	収益的支出 5億8867万円 資本的支出 4億 512万円
	病院	収益的支出 12億8489万円 資本的支出 2億6057万円
	合 計	

※万円未満は四捨五入

【予算の用語解説】

- 義務的経費**：支出が義務づけられ、削減が極めて困難な経費
- 消費的経費**：支出の効果が短期間で終わる経費
- 投資的経費**：道路や施設など将来に残るものに支出する経費
- 人件費**：職員の給与などの経費
- 扶助費**：社会的弱者に対する公的支援費
- 公債費**：町の借入金に対する返済金
- 物件費**：行政の事務費等
- 維持補修費**：施設の修繕経費等
- 補助費等**：補助金や助成金等
- 繰出金**：他の会計の不足等を補てんするための経費
- 予備費**：不測の事態に対応する予算
- 補助事業費**：国や県の補助金を受けて実施する建設事業費
- 単独事業費**：補助を受けず町費だけで実施する建設事業費



主な事業箇所

掲げた町の将来像「魅力と笑顔にあふれ、未来に躍進するまち」の実現に向けた

- ⑭ 下水道施設の改修工事（直海）
- ⑮ ため池の整備工事（大世町地区）
- ⑯ 防火水槽の蓋板設置工事（代田・館開）



- ⑰ がけ崩れの防止対策工事（福浦港）
- ⑱ ため池の整備工事（赤住・百浦地区）
- ⑲ ため池の整備工事（猪の谷第3地区）
- ⑳ 町道志賀の郷線の舗装工事
※ロイヤルホテル付近の道路

- ㉑ がけ崩れの防止対策工事（神代）
- ㉒ 町道高浜中央線の融雪設備工事
※小浜神社付近の道路
- ㉓ 町道カントリー連絡線の新設工事
※みらいとうぶ付近の道路
- ㉔ みらいとうぶ住宅地の整備工事
（AブロックとBブロックの整備）
※住宅を建てた方への奨励金制度
転入者の上限額：370万円
町内者の上限額：250万円
（富来病院の看護師になった場合は100万円の加算）
- ㉕ 防火水槽の新設工事（大島）

な事業などは掲載されていませんので、ご了承願います。



平成29年度の

町税などの減収が見込まれる厳しい財政状況の中、第2次志賀町総合計画に各種施策となっています。

- ⑫ 地籍調査（鶴野屋・入釜・地保・切留）
- ⑬ 旧熊野小学校の改築工事
※校舎を解体し体育館を改修

12

- ① 富来防災センター取付道路の新設工事
※旧富来小学校付近の道路
- ② 町道貝田領家線の舗装工事
※富来野球場付近の道路
- ③ 町道地頭町中浜線の融雪設備工事
※富来支所付近の道路
- ④ 公営住宅の整備工事（旧サイクリングターミナル跡地）
※ファミリー棟は鉄筋コンクリート造2階建て12戸、
単身者棟は木造平屋建て8戸
- ⑤ ほ場整備（相神）
- ⑥ とき地域福祉センターの大規模改修工事
※とき温泉センターを解体して一体化

13

- ⑦ 西海祭り体験ツアー
- ⑧ 地籍調査（赤崎）
- ⑨ 赤崎漁港の防波堤改修工事
- ⑩ ほ場整備（鹿頭）
- ⑪ 旧西浦保育園の解体工事

支所

【ご注意】この航空写真上に記された事業は、平成29年度のすべての事業を記したものではありません。全町的にわたる事業や小規模



29年度予算の審査

予算決算常任委員会

委員長	南 政夫	委員	須磨 隆正
副委員長	稲岡 健太郎		田中 正文
委員	中谷 松助		富澤 康一
	福田 晃悦		櫻井 俊一
	南 正紀		林 一夫
	寺井 強		戸坂 忠寸
	堂下 健一		久木 拓
	下池 外巳		

一般会計

電源立地地域対策 交付金を減額させ るな

質疑 原発の立地自治体に交付される電源立地地域対策交付金が、前年度から1400万円も減っている。減額しないよう、国に要望すべき。

答弁 本交付金は、原発で発電した電力量に応じて算出されるが、停止中でも自治体の財政が維持できるように、これまでは稼働率を81%とみなして交付されてきた。

それが平成28年度に78%、29年度に75%というように年々交付額は減っている。

原子力政策に協力してきた地域への支援を国に求めていきたい。

コミュニティバス の利用者減に対する 対策は

質疑 コミュニティバスの年間の利用者が、志賀地域で674人、富来地域で2686人減っている。この状態を打開するための対策は考えているのか。

答弁 平成29年度と30年度に、デマンド交通の実証実験を行い、費用対効果などを検証していく。

婚活事業の成果は

質疑 平成28年度から各種団体が行う婚活事業に対し、補助金を交付しているが、成果はあったのか。

答弁 28年度は3つの婚活パーティーが開催され、延べ116人の参加があった。1回目は2組、2回目は4組、3回目は3組のカップルが誕生した。

特別・企業会計

介護専門職の 労働条件は

質疑 要支援者の訪問介護が町の総合事業に移行することで、専門職の労働条件は悪化しないのか。

答弁 総合事業では、高齢者の実情に応じて専門的なサービスと生活支援的なサービスを切り離して行うことになる。

そうなれば、専門職は専門的業務に集中できるため、負担軽減にもつながるものと考えている。

国民健康保険税は どうなる

質疑 平成30年度から県と町が国保の運営を行うことになるが、保険税の額はどうなるのか。

答弁 県が市町ごとの標準保険税率を定めて、それを参考に各市町で保険税率を決定することになる。まだ、標準保険税率は示されていない。

下水道事業は 統合しないのか

質疑 全国的に下水道会計は赤字運営であり、不十分は一般会計で補っている状況である。人口減少も進んでいる中で、下水道事業を統合する考えはないのか。

答弁 農業集落施設の集約化や公共下水道との接続など、経費削減のため統合を検討している。



利用者が減り続けているコミュニティバス



見直しが進む介護保険制度

富来金山を どうするのか

質疑 本町の貴重な歴史文化遺産である富来金山をどのように調査するのか。

答弁 これまで掘っていた坑道や周辺地域の現況調査や安全調査を行った。できれば佐渡の金山のような観光商品になってほしい。



28年度補正予算の審査

平成28年度各会計の補正後の予算額

区 分		予 算 額	
一 般 会 計		156億6983万円	
特別会計	公共下水道事業	7億 994万円	
	地域し尿処理施設	1億 679万円	
	介護保険	28億2208万円	
	診療所事業	1億7412万円	
企業会計	水道	収益的支出	5億8097万円
		資本的支出	3億7196万円
	病院	収益的支出	13億1145万円
		資本的支出	2億9422万円
合 計		220億4136万円	

※万円未満は四捨五入

質疑 企業総合支援事業補助金の支給要件は。

答弁 志賀町に住所を有し、町内金融機関等から3年以上の融資を受け、商工会に加入するなどの要件である。

対象となれば、300万円を上限とした補助金が交付される。この限度額は近隣自治体では最高額である。

質疑 学習サポート事業では、大学生が講師となつて中学3年生に勉強を教えている。

受講者が前年度から2倍に増えているが、なぜ講師の謝金が減額補正されるのか。

答弁 講師の延べ人数は467人となっており、受講者数も同じく2倍に増えている。

減額補正の理由は、中学3年生全員の受講を想定していたためである。

質疑 志賀町では、ふるさと納税に対する返礼品を増やしているが、全国には返礼品を送らないという自治体もある。

返礼品を送らないという考えはないのか。

答弁 過剰な返礼品はどうかと思うが、一次産業の活性化につながるのので、返礼品は継続していきたい。

教育民生常任委員会

委員長 久木 拓栄 委員 堂下 健一
 副委員長 福田 晃悦 // 南 政夫
 // 下池外 巳造
 // 越後 敏明
 // 富澤 軒康
 // 櫻井 俊一



※機能別消防団とは、災害現場における消火活動など、特定の活動のみに従事する消防団員です。

質疑 志賀町消防団には16の分団があるが、団員が十分に確保できないところもある。分団の合併は考えていないのか。

答弁 町民の安全・安心にかかわることなので、分団は地区ごとに配置されるのが理想である。

まずは、機能別消防団員制度を導入して、本制度で確保できない場合は、合併も考えてみたい。



富来防災センターの内部(上)と外観(下)

質疑 今になって動物の飼い方について規定した条例を制定した理由は。

答弁 動物の飼い方についての苦情が増えており、この条例を機会に飼い主の方に注意を呼び掛けていきたい。

質疑 原子力災害時の一時避難場所となる富来防災センターの維持管理費は、どこが負担するのか。

答弁 国からの交付金で対応する。

総務産業建設常任委員会

委員長 田中 正文 委員 中谷 松助
 副委員長 南 正紀 // 稲岡健太郎
 // 寺井 強
 // 須磨 隆正
 // 林 一夫
 // 戸坂忠寸計

〇〇薬局

<領収書>

2017年4月1日(土) 10:55

★ ◇◇かぜ薬	¥500
△△ビタミン剤	¥300
★ ××胃腸薬	¥600
〇〇ドリンク	¥200

合計 ¥1,728
 (消費税 ¥128)

★印はセルフメディケーション税制対象商品

スイッチOTC医薬品の領収書(例)

※スイッチOTC医薬品とは、医療薬から市販薬に切り替えられたものです。セルフメディケーション税制(医療費控除の特例)の適用を受けることができます。

※地区自治振興基金は、志賀地域の自治活動に対して交付することを目的とした基金(貯金)です。※特別財政基金は、志賀地域の振興事業を目的とした基金です。

答弁 薬局の領収書を提出する。領収書には、スイッチOTC医薬品を購入したことがわかるようになっている。

質疑 スイッチOTC医薬品を購入して、確定申告で医療費控除を受けるには、何を提出すればいいのか。

答弁 本基金の残高は3245万円であり、特別財政基金に編入され、基金の目的に沿った使い方になる。

質疑 地区自治振興基金が平成28年度で廃止されるが、残ったお金はどうするのか。

請願

治安維持法犠牲者への国家賠償を求める意見書の提出を求める請願

紹介議員 中谷 松助

請願の内容

1925年に制定された治安維持法は、戦争に反対した者を弾圧し、根絶するために制定された法律である。

制定から廃止までの20年間に、数十万人が逮捕され、起訴された者75681人、拷問によって虐殺された者90人以上を含め、拷問、獄中などを合わせると500人以上が死に追いやられている。日本の敗戦により、本法は反人道的悪法として廃止され、有罪者は無罪となったが、他国のように国家賠償がなされていない。以上のことから、早期に治安維持法犠牲者国家賠償法(仮称)を制定し、犠牲者に一日も早く謝罪と賠償を行い、名誉を回復されるよう、意見書を提出されたい。

人事

副町長に
 しょうだよしのり
 庄田義則氏



25年4月1日から副町長に就任
 55歳(珠洲市出身)

副町長の任期が平成29年3月をもって満了となるため、議会が同意し、庄田義則副町長が再任されました。

表彰

堂下議員に
 永年在職表彰

10年にわたり議員を務めた堂下健一議員に永年在職議員表彰が授与されました。



視察

改修された 総合武道館を視察

志賀町では、東京オリンピックの合宿誘致をめざし、アゼルバイジャン共和国のレスリングチームに働きかけをしています。その合宿場所となる総合武道館の改修工事が終了したので、視察を行いました。

※アゼルバイジャン共和国は、カスピ海に面し、人口は950万人です。
リオ五輪では、レスリングで9個のメダルを獲得しています。



冷暖房完備になり天井や床面等が整備された剣道場

原子力発電所対策特別委員会視察

原発とエネルギー問題を考える

【日程】2月8日・9日

【場所】愛媛県・広島県

伊方原子力発電所

伊方原子力発電所では、3号機が再稼働する中で、1号機が老朽化のため廃炉になるといふ、相對するものが同じ施設内に存在しています。

1号機は、昭和52年9月に運転を開始し、今年で運転40年目を迎えますが、現在は廃炉に向けて準備を進めています。

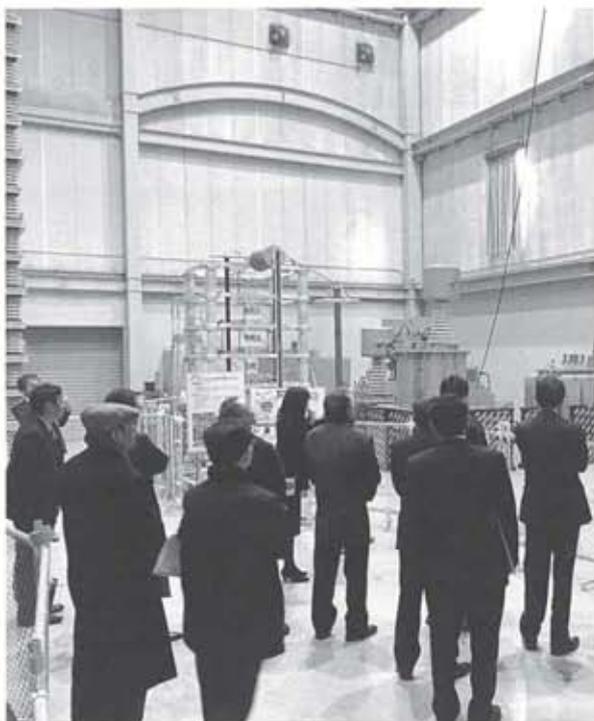
一方、3号機については、昨年3月に新規制基準への認可を受け、同年8月から再稼働をしています。地震対策、浸水対策、冷却手段の確保、重大事故対策など、あらゆる安全対策が施されています。

志賀原子力発電所では、現在、再稼働に向けての安全対策が行われており、今後の動向に注視していきたいと思えます。

エネルギー総合研究所

エネルギー総合研究所は、エネルギーの有効利用や高度利用を研究する、電力会社の研究機関です。

本研究所では、送電線の雷に対する「絶縁耐力試験装置」と当研究所が開発した発電所冷却水の取水口に付着する貝や藻類などを発見する「不着生物幼生特異センサー」を見学しました。50万Vの落雷実験では、閃光と大きな音で驚きましたが、落雷に対しても安定供給できる送電技術の開発に取り組んでいることを知ることができました。



高電圧実験棟での落雷実験

議案番号	議案名と主な内容（議案名は一部省略してあります）	議決結果
議案19号	志賀町包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について…関係法令の一部改正に伴い、主任介護支援専門員の定義の規定を修正するとともに引用条項を改正する。	可決 賛15 反0
20	志賀町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例について…消防団OB等による機能別消防団員制度を導入するにあたり、その待遇等について規定を設けるため改正する。	可決 賛15 反0
21	志賀町地区自治振興基金条例を廃止する条例について…志賀町地区自治振興事業費補助金交付要綱の対象事業が28年度末で完了することから、本条例を廃止する。	可決 賛15 反0
22	志賀町道路線の認定について（町道第1091号七十刈3号線）…富来防災センターへのアクセス道路となる、町道第1025号大高田線と町道第1088号ふるさと南部線に接続する富来高田地内の道路を新たに町道認定する。	可決 賛15 反0
23	志賀町道路線の認定について（町道第5101号小釜因宗寺線）…国道249号線と町道第5031号小釜海岸線を結ぶ、里本江地内の道路を新たに町道認定する。	可決 賛15 反0
24	29年度一般会計予算について…5ページに掲載	可決 賛14 反1
25～33	29年度国民健康保険特別会計予算～水道事業会計予算について…5ページに掲載	可決 賛15 反0
34	29年度富来病院事業会計予算について…5ページに掲載	可決 賛14 反1
35	財産の取得について「志賀小学校ランチルーム備品」…志賀小学校ランチルーム備品を、有限会社北市から831万3840円で取得する。	可決 賛15 反0
請願1号	治安維持法犠牲者への国家賠償を求める意見書の提出を求める請願…10ページに掲載	不採択 賛2 反13
決議1号	議員の派遣について…本町の行政課題に対応した諸外国の実情調査を行う。	決定 賛14 反1

討論



治安維持法犠牲者への国家賠償を求める意見書の提出を求める請願

平成29年度一般会計予算について

これに賛成

治安維持法の犠牲者に、政府が謝罪と賠償を実現することは人道上当然の急務である。

中谷松助議員

これに反対

本請願からは、治安維持法の犠牲者の遺族の方々からの声や要請などを読み取ることができない。すでに機を逸しており、賛同しかねる。

南正紀議員

これに賛成

新年度予算案は、その施策、計上予算額のすべてにおいて、適切かつバランスの取れたものである。

南正紀議員

これに反対

全議員を対象とした海外視察は必要ない。志賀原子力発電所環境安全対策協議会に対する補助は、町民の理解を得られるものではない。

中谷松助議員



(人事案件をのぞく)

※議長は採決に加わりません。

議案番号	議案名と主な内容 (議案名は一部省略してあります)	議決結果
議案1号	28年度一般会計補正予算について…国の補正予算に対応して、緊急に実施すべき事業費の計上のほか、年度末の事業精算見込みにより所要額を補正する。【3685万円の増】	可決 賛15 反0
2	28年度公共下水道事業特別会計補正予算について…事業の精算見込みにより所要額を補正する。【5648万円の減】	可決 賛15 反0
3	28年度地域し尿処理施設整備事業特別会計補正予算について…事業の精算見込みにより所要額を補正する。【4562万円の減】	可決 賛15 反0
4	28年度介護保険特別会計補正予算について…事業の精算見込みにより所要額を補正する。【2977万円の減】	可決 賛15 反0
5	28年度診療所事業特別会計補正予算について…事業の精算見込みにより所要額を補正する。【166万円の増】	可決 賛15 反0
6	28年度水道事業会計補正予算について…事業の精算見込みにより所要額を補正する。【収益的支出600万円の増、資本的支出7775万円の減】	可決 賛15 反0
7	28年度富来病院事業会計補正予算について…事業の精算見込みにより所要額を補正する。【収益的支出180万円の増、資本的支出1960万円の減】	可決 賛15 反0
8	志賀町工芸工房条例について…熊野工芸工房での草木染教室や荒木ヶ丘工房での陶芸教室等を集約し、旧福浦小学校を志賀町工芸工房とするにあたり、新たに条例を制定する。	可決 賛15 反0
9	志賀町動物の愛護及び管理に関する条例について…関係法令の規定に基づき、動物の飼養及び保管について、動物の所有者又は占有者に対する指導等を規定し、地域や住民間で起こる動物の苦情やトラブルなどに適切に対応するため、新たに条例を制定する。	可決 賛15 反0
10	志賀町富来防災センター条例について…放射線防護施設として、富来防災センターを整備したので、新たに条例を制定する。	可決 賛15 反0
11	志賀町個人情報保護条例の一部を改正する条例について…関係法令の一部改正に伴い、本町の独自利用事務について、ネットワークシステムを利用した情報連携が可能となることから、それらの事務について、特定個人情報として保護するため改正する。	可決 賛15 反0
12	志賀町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について…関係法令の一部改正に伴い、介護を行う職員に超過勤務の制限を追加するため改正する。	可決 賛15 反0
13	志賀町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について…関係法令の一部改正に伴い、育児休業の対象となる範囲の拡大、取得要件の緩和などを行うため改正する。	可決 賛15 反0
14	志賀町税条例等の一部を改正する条例について…関係法令の一部改正に伴い、個人住民税における住宅ローン控除の適用期限の延長、医療費控除の特例及び軽自動車税の環境性能割の創設、法人町民税の法人税割の税率引き下げなどを行うため改正する。	可決 賛15 反0
15	志賀町学校給食事業負担金徴収条例の一部を改正する条例について…関係法令の一部改正に伴い、負担金の額及び納付の規定などを改正する。	可決 賛15 反0
16	志賀町乳幼児・児童医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について…医療費助成にかかる請求権の起算日を改正する。	可決 賛15 反0
17	志賀町ひとり親家庭等医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について…関係法令の一部改正に伴い、引用条項を改正する。	可決 賛15 反0
18	志賀町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について…関係法令の一部改正に伴い、地域密着型通所介護及び療養通所介護の人員、設備、運営に関する基準を追加するため改正する。	可決 賛15 反0



福田 晃悦 議員

企業用地の整備を検討せよ

検討していきたい 町長

福田 本町への企業立地の機運も高まる中で、能登中核工業団地の工場用地空き区画は3、その他用地の空き区画は2となっており、現在の分譲率は94・45%となっている。

近年は、国内全体の景気回復の兆しや、安い電気料金、手厚い補助制度、災害リスク対策等を理由に、本町への企業立地の機運も高くなっている。

今後の町政発展のためにも、新たな企業用地の整備も検討すべきと考える。

町長 能登中核工業団地の企業数は32社で過去最多となっており、従業員数も千人を超える勢いがある。

町としては、県と連携して企業の誘致活動に全力を尽くしていく。企業用地については、企業側のニーズや国内の経済情勢を注視しながら検討していきたい。

町内体育施設の今後の運営は

指定管理でサービスを向上する

町長

福田 平成29年度より、総合体育館を含む8施設が、ミスノスポーツサービス株式会社に指定管理される。

指定管理者制度とは、公の施設の管理に民間の能力やノウハウを活用しながら、住民サービスの向上と経費の削減を図ることを目的に創設された制度である。

指定管理をすることにより、ミスノグループならではのハイブで、さまざまな事業の展開や効率的な管理運営が期待できると考えられる。

すでに同社に指定管理されている富来B&G海洋センターも含めて、町内体育施設の今後の新たな展開の見込みは。

町長 富来B&G海洋センターでは、ミスノ独自の事業により、利用者が3割以上増加している。今後の展開としては、

同社自ら総合体育館に新規のトレーニング機器を導入し、専門的なフィットネス事業やジュニアスポーツ教室の開催など、多様な利用者ニーズに対応できる運営を計画している。

また、施設面では、スマートフォンから利用状況が確認できるシステムを導入し、本社と連携して管理の効率化や安全な施設運営を行っていく。

このように、指定管理者制度により、今まで以上にサービスの向上を図っていきたい。



4月から指定管理された陸上競技場



寺井 強 議員

町花「ハマナス」をどう守る

町民一体で守ることが大切 町長

寺井 町花であるハマナスは、県では準絶滅危惧種に指定され、全国的にも危惧されている。

ハマナスを町花にして自自治体も多く、かほく市や内灘町、姉妹都市である福井県高浜町などが指定している。

本町では、ハマナスは区名や施設名、学校の校章と多くに使われているが、どこに咲いているのか、どのような花なのか知らない人が多いのではないかと。

福井県高浜町では「高浜町花制定条例」を設けているが、本町では、教育現場で、どのように教え、周知していくのか。また、どのように守っていくつもりか。

町長 現在、ハマナスは、高浜保育園、富来中学校、志賀町野球場などに植えられているが、町花であるハマナスを、町民が一体となって守っていくことが大切である。



5月から8月にかけて開花するハマナス

どのような花なのかわからない方のために、これらの施設のほか、全小中学校、役場、富来支所、図書館などの公共施設にも植樹をし、案内板も設置することにより、周知を図っていきたいと考えている。

また、子ども達には、環境学習の場として、海浜植物に触れて学ぶことにより、自然環境の保護や環境保全の心を養ってもらいたいと思っています。

増穂浦海岸の再開発を

施設の改修や看板の設置を行う 商工観光課長

寺井 増穂浦海岸の遊歩道は、両端に車の進入禁止の表示や車止めがないために、車の轍が見られる状態である。

また、増穂浦海岸では交流人口の拡大につながる多くの催しが行われているが、ベンチ側とキャンプ場側で、分断されているように感じる。

白砂青松のこの海岸に、砂防を含めて、松やハマナスを増殖するなど、増穂浦海岸の再開発を検討してほしい。

商工観光課長 能登リゾートエリア増穂浦の施設は、経年劣化や塩害により老朽化している。

今後は、施設の改修や看板の設置を行いながら、交流人口の拡大を図っていききたい。

また、松やハマナスの増殖については、県と協力しながら適切な保全管理を行っていく



堂下 健一 議員

教員の多忙化を解消せよ

負担軽減を図りたい 教育長

堂下 次期学習指導要領が平成32年度から順次実施されるが、その内容については賛否両論があり、私も大きな疑問をもっている。

今回の学習指導要領では、英語とプログラミング教育が大きなポイントとなるが、教員は、さまざまな研修や準備などで、多忙を極めることは容易に想像できる。

教員が多忙を極めると子ども達にも決して良い環境をもたらささない。教員が今まで以上に忙しくならないような対応を考えているのか。

教育長 次期学習指導要領の詳細については、現時点で明らかではないが、本町の教育環境ツールを十分に活用し、実施の際には即応していきたいと考えている。

次期学習指導要領に対応する研修についても、学校現場での研修を充実させ、教員の負担軽減を図りたい。

イノシシ対策は万全か 対策を講じたい

農林水産課長

堂下 イノシシに対する対応はかなり進んできているが、万全なのか。

国は様々な方策を立てているが、町でも具体的な対応策はできているのか。また、どのくらい生息していると見積もっているのか。

住民に対して経験豊富な方々の技術を紹介するなど、あらゆる対策を講じていきたい。

なお、生息数については、県全体の推定個体数を約1万8千頭として試算すると、本町では約350頭と推測される。

農林水産課長 これまで、電気柵や檻などの設置など、さまざまな対策を講じてきた結果、イノシシの捕獲頭数は、平成26年度が5頭であったものが、27年度には108頭、29年2月末では170頭となった。

また、農作物の被害額は、27年度は465万9千円であったが、28年度は309万5千円に留まっている。



町内に設置されている檻

その他の質問

堂下 町職員と教員の有給休暇の取得率は。

総務・学校教育課長 平成28年実績で、町職員は7・9日、20・4%で、教員は8・4日、21・0%となっている。

堂下 子どものネット依存と、学生の読書離れについて感想は。

教育長 パソコンやスマホ機能の利便性は認めるが、読書による落ち着きのある学びの姿勢が重要であり、読書活動を推進していきたい。

堂下 福島原発事故から6年を迎えての所感は。

町長 改めて町民の安全・安心を確保していくことの責任の重さを痛感している。

限界集落をどう考える

必要な支援を行っていく 町長



南 正紀 議員

南 限界集落になりやすい条件としては、30世帯50人以下の地区である、山間地である、地形的にその先に集落がない、役場から10キロ以上離れているなどが挙げられており、当町の多くの地区がこれに該当する。

これらの地区においては、集落間の相互扶助や行政区の再編・統合なども検討してもよいと思うが、どう考えているのか。



存続が危ぶまれている地域活動

町長 各地区においては、自主的にコミュニティ機能を持続するための取り組みを検討すべきであり、町として必要な支援を行っていききたい。

なお、新年度予算では、地域の拠点づくりのための地域おこし協力隊の募集や河川愛護活動報奨金制度を新設している。

後継者不足に対策を

幅広い支援を行っていく 町長

南 第一次産業における後継者不足は、極めて深刻な問題である。

本町では、新規就農者に対しては、手厚い支援が行われているが、漁業や林業に対しては、どのような対策が行われているのか。

その他の業種についても、対策が必要である。

町長 漁業については、町内の漁業経営者が、自助努力をしており、町としては、その支援と施設整備を中心にバックアップをしていきたい。

林業については、国の新規就業支援策である緑の雇用事業などを活用して、希望者への支援を行っていききたい。

その他業種については、ふるさと就業促進奨励金制度、起業創業支援事業補助金や町外からの新規就業者にアパート等の家賃補助を行うなど、幅広い支援を行っている。

その他の質問

南 みらいとうぶでは集会施設がなく、地区の防災グッズや機器の保管場所がないなど、これから多く問題が発生することが想定される。町としてどのような支援を行うつもりか。

また、みらいとうぶは隣接する区に統合させるのか、独立した行政区とするのか。

町長 集会施設については、隣接する新大念寺区集会所を当分の間利用することで、地元区長の了解をいただいている。

町としては、みらいとうぶに移住された方々の要望に対して、可能な範囲で支援をしていきたいと考えている。

行政区については、年内は、新大念寺区とし、来年からは、新たな住民自治組織としての設立をお願いしたい。

志賀原発は廃炉しかない

審査の動向を注視したい 町長



中谷 松助 議員



今後の動向が注目される志賀原発

中谷 昨年の4月に、原子力規制委員会は、志賀原発直下のS1、S2、S6は活断層の可能性があると結論つけた。また、志賀原発周辺の断層調査では、富来川南岸断層や福浦断層が志賀原発に重大な被害をもたらし得る活断層であることも証明されている。こうなった以上、志賀原発は廃炉しかない。北陸電力に対して即刻廃炉を決断するよう求めよ。

町長 現在、原子力規制委員会において審査が行われているが、町としては、引き続きその動向を注視していきたい。

金沢方面への路線バスを維持せよ

存続に向けて努めていく 町長

中谷 本年4月1日から、北陸鉄道能登バスが、門前特急・急行線が一部廃止・縮小され、本町から金沢方面への移動交流の利便性が非常に悪くなる。とりわけ、金沢医科大学病院などへの通院に支障を来たすようになるため、町民から不安の声が起きている。町民がいつまでも安心して住み続けられるように、路線維持、拡充補助も含めた積極的な調整を求める。

町長 今回の運行見直しは、バス会社の経営判断から実施されたものである。見直しにあたり、町から本路線の存続を要望した結果、現行の9便の運行本数のうち、4便の運行が維持されることになった。今後必要となれば時間の変更を要望するなど、本路線の存続に向けて努めていく。

その他の質問

中谷 高齢者に、富来病院と志賀地域を無料で行き来できる路線バス用のシルバークラスを付与してはどうか。また、病院の空きスペースで認知症予防カフェをできないか。

町長 富来病院を利用する方だけを優遇できない。認知症予防カフェへの対応は難しい。

中谷 子ども医療費窓口無料化を求める。

住民課長 導入しない。

中谷 町内施設の遊具の点検・整備は万全か。

町長 適正に実施している。

中谷 輪島市の産廃処分場計画を認めるな。

町長 必要なことは県に伝えていきたい。

さらなる節約が必要である

経費の縮減を凶っていくく 町長



林 一夫 議員

林 平成29年度一般会計予算は、過去12年をさかのぼってみても最低額となっている。

今後の志賀原発の固定資産税や電源立地地域対策交付金の収入見込みはどうか。

また、さらなる節約が求められる状況において、各種補助金、助成金の再整理、縮小が必要ではないのか。

町長 新年度予算が減額になったのは、統合小学校建設事業の終了や地域づくり振興基金の積立金の減少が要因である。

固定資産税については、大規模な新規投資がない限り、毎年約2億円の税収減が予想される。電源立地地域対策交付金については、今後、急激な減少はないと考えている。

補助金等の整理、統合、縮小については、公益上必要がある補助金等のみを計上しており、これ以上の廃止や縮小は難しいと考えている。

今後は、原発関連の財源に依存しない財政基盤を作り上げるため、選択と集中により、事業の徹底合理化と経費の縮減を図っていききたい。

町長の再出馬の意思は

引き続き町政を預からせていただきたい 町長

林 次回の志賀町長選挙が本年9月10日に投・開票されることが決定したが、小泉町長は再出馬の意思はあるのか。

小泉町長がこれまで取り組んで来られた多くの改革や改善は、大きな評価に値する。これまでの経験や反省点を活かしながら、また、健康面に十分な配慮をし、引き続き町政の運営にあたられるよう強く要望する。

町長 本年4月から第2次志賀町総合計画がスタートするが、決して平坦な道ではない。

町民の皆様の支持が得られるならば、私の責任において着実に実行し、新たな施策の推進と町の課題の解決に向けて、引き続き町政を預からせていただきたいと考えている。

安心して子どもを産み、育てやすい環境の整備をさらに推し進め、若者の定住人口を増加させる施策を積極的に展開し、町

の将来像である「魅力と笑顔にあふれ、未来に躍進するまち」の実現に向けて、健康にも留意しながら、全身全霊を尽くしていく決意である。



意気込みを語る小泉町長

その他の質問

林 富来病院の今後の運営形態はどうなるのか。

町長 運営検討委員会の意見を尊重したい。病院職員に、「一層危機感をもって改善していかねればならない。」といった意識改革が見られたことから、当面は、現在の経営形態のもと、改革を推し進めていく。

試合にむけて日々頑張っているフロアボール教室の皆さんを訪ね、お話をお聞きしました。

志賀町 フロアボール教室

◆結成のきっかけは。

◇2000年の全国スポーツ祭の石川開催にあたり、旧富来町がユニホック（現ネオホッケー大会）の開催会場になり、大人から子どもまで参加したことがきっかけです。

なお、フロアボール大会のほかにはネオホッケー大会がありますが、フロアボール大会は国際ルール、ネオホッケー大会は国内ルールと考えればわかりやすいと思います。



GM 山本 悟さん

◆メンバー構成は。

◇フロアボール教室は、志賀小と富来小の小学生18人程度、フロアボールクラブは、中学生から一般の方で30人程度です。



フロアボールは安全な競技です

◆普段の活動は。

◇週3回で午後7時から9時までです。火曜日は旧福浦小体育館で基礎練習を、木曜日は富来小体育館で実践練習を、土曜日は総合体育館で実践練習を行っています。

◆これまでの成績など。

◇昨年度は小学生低学年の部が全国大会で3位、日本選手権で準優勝しました。

過去には、全国大会で小学生の部4連覇、中学生の部3連覇、そのほか一般女子の部、一般男子の部、一般混成の部も日本一になりました。

世界大会日本代表にも、男女5人が日の丸をつけて出場しています。

◆今後の目標は。

◇全国大会や日本選手権での入賞をめざしますが、まずは選手の確保です。マイナー競技のため、広く知ってもらい、競技人口を増やしたいです。

◆最後に一言。

◇アイスホッケーを体育館で行うといった競技で、ボールやスティックはプラスチック製で、危険な行為も禁止され、安全な競技です。ぜひ、小学生や中学生以上の方々に、フロアボールを知ってほしいです。



一緒にフロアボールをしませんか

発行責任者

議長 南 政夫

議会広報特別委員会

委員長 寺井 強

副委員長 福田 晃悦

委員 稲岡健太郎

南 正紀

富澤 軒康

櫻井 俊一